ご入学にあたり、ＰＴＡを代表いたしまして

一言お祝いの言葉を申し上げます。

新一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今日から皆さんは、この○○小学校で新しい先生や新しいお友達、そして、上級生のお兄さんやお姉さんたちと一緒に勉強したり遊んだりしていきます。

新しいことが、たくさん待っていますからね。いっぱいお勉強して、遊んで、たくさんお友達をつくりましょう。

お友達を作るにはどうすれば良いのか、それは自分から元気に挨拶をすることです。そしてみんなの名前を覚えましょう。そうするとまわりの人達と仲良く出来ますよ。是非やって見て下さいね。

そしておうちに帰ったら学校での事をお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんにいっぱいお話して下さいね。

では、ここからは、お父さん、お母さんにお話ししますので、静かに待っててくださいね。

保護者のみなさま、本日はお子さまのご入学、おめでとうございます。心から喜びとお祝いを申し上げます。

今日から皆さんもＰＴＡの一員となります。私どもＰＴＡでは、子どもたちの健やかな成長を願い、安全で楽しい学校生活を送れるよう、様々な活動を行っております。

一つ事例を言いますと、朝の通学時間帯での旗振り活動があります。学校周辺の横断歩道で、子どもたちが通学してくるのを見守っています。交代で行っておりますので、一世帯あたりでは、三か月から四か月に一度のペースになります。近々、旗振りの講習会もございます。どうかよろしくお願いします。

そのほか、様々な活動を行っております。また詳しくは、来月の八日に予定していますＰＴＡ総会にてご紹介いたしますので、ぜひご出席ください。

また、この江尻小学校は、静岡市で唯一のコミュニティスクール実践校となっています。

昨年の事例をひとつ紹介しますと、四年生が一年かけて、地域で行っているＳ型デイサービスに述べ三五回訪問しました。最初は慣れない部分もあり、お互いにぎこちなかったようですが、事前に考え、訪問実践し、帰ってきての復習を繰り返し、今では地域の方が舌を巻くくらいお年寄りとのコミュニケーションがとれるようになってきました。

想像してください。すでに小学校四年生で、お年寄りと自然にコミュニケーションが取れるんですよ。お年寄りとはどう接したらいいか、すでにわかっているんです。仮に、この先、この子どもたちが高齢者福祉の仕事に就いたとして、ほかの人よりも何歩も先にいるんです。これってすごいことだと思いませんか。

各学年とも、こうして、地域の協力の元、社会に即した学びを得ています。

保護者のみなさまもぜひ積極的にかかわっていただけたらと思います。

ここで保護者の皆様にこちらの言葉を紹介したいと思います。

「**一家は習慣の学校なり。父母は習慣の教師なり」**

これは一万円札のモデルにもなっております福沢諭吉先生の言葉です

この意味は、習慣になった事柄は、強く意識したり、努力したりせずに、行動化することができる。そして習慣は幼児期に形成されるものが多い。したがって、家庭は習慣を身につけさせる学校であり、両親はそこにおける教師だということ。です。

教育は学校現場だけではありません。学校、家庭、そして、地域が一つになることで、本当の意味での教育を子どもたちに与えることができます。どうか、ともに子どもたちを育てていきましょう。

最後になりましたが、新一年生の皆さんの輝ける未来と、ご来場の皆さまのご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。